

横浜市立東山田小学校マニフェスト（中期学校運営計画）

計画期間 平成18年12月1日～平成23年3月31日

学校教育目標

一人ひとりが かがやく 東山田小

- ・ 豊かな人間関係の中で、ともに生きる力を育てます。 【自分も友だちも大切にする子】
- ・ さまざまな学びや生活の場面で、自ら解決する力を育てます。【自分で考えて解決する子】
- ・ 一人ひとりを生かす、学びの中で、自分の個性をより良く発揮できるようにします。 【自分らしさを生かす子】

学校経営方針

- ・ 教育目標の実現をめざすために、知・徳・体のバランスのとれた教育活動を展開します。
- ・ 家庭や地域との連携を積極的に推進し、力を合わせて学校づくりに取り組みます。
- ・ 教職員の情報交換を活発にし、共通理解を深め、活気ある学校運営組織をめざします。

指導の重点

- ・ 学校教育目標の実現に向けて、具体的な目標を設置して取り組みます。
- ・ 日常的に行事評価・授業評価に取り組むとともに、学校評価を通して教育活動の質を高めます。
- ・ 確かな学力の育成に向けて、具体的な方策を立てて取り組みます。
- ・ 体力の実態の把握に努め、体力づくりに取り組みます。

改善の視点

取組目標

1. 具体的な目標をもって実践に臨みます。	<ul style="list-style-type: none"> ◎お互いのよさを認め合い共生をはかるために、「一人ひとりの良い所カード」を作成し、思いやりのある学級をめざします。 ◎自ら解決する力をの育成をめざし、スモールステップの数値目標を設定し、達成感と自信を持たせます。 ◎一人ひとりの児童に対し保護者が望む教育の方向を話し合い、「個別教育カード」の作成をめざします。
2. いろいろな評価を活用して、教育活動の質を高めます。	<ul style="list-style-type: none"> ◎授業参観等の機会に保護者による授業評価を実施し、授業の改善に役立てます。 ◎大きな行事ごとに行事評価を実施し、児童・保護者の意見を取り入れて改善をはかります。 ◎7月と12月に学校評価を実施し、経時的な動向の変化を分析して、学校運営にいかします。
3. 確かな学力の育成に向けて、具体的な方策を立てて取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ◎全校で「しっかり聞いてしっかり応える」態度の育成をめざします。 ◎「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣の育成に保護者と連携して取り組みます。 ◎少人数指導の充実をめざし、算数では、3年・4年に加えて、5年・6年でも習熟度学習に取り組みます。 ◎生活科や総合的な学習の時間等の体験的な学習を通して、問題を解決する力を育成します。
4. 体力づくりに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ◎子ども達の体力の実態を把握するために全校での体力テストを平成19年度から実施します。 ◎狭い校庭を補う運動目標を設置して、体力づくりに役立つ運動に積極的に取り組みます。
5. 安心・安全な学校づくりに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ◎東山田学援隊を中心に、ワンワンパトロール、敬老会や地域の方々による活動、PTAパトロール等で子ども達の安全を組織的に見守ります。 ◎登校班活動を維持し、門の開閉時間の順守、教職員によるパトロールを着実に実施します。

<p>人材育成の考え方</p>	<p>・開校より7年目を過ぎ、教職員の異動が多くなることをふまえ、本校の特色を確実に引き継ぎつつ、新しい活力を積極的に受け入れる体制を組みます。 ◎増加が予想される新任教諭や若手教職員の育成をはかるため、校内研修の活性化をはかり、相互研修による指導力の改善をめざします。 ◎ますます複雑化する児童指導の充実をはかるために、外部諸機関との連携を深め、児童指導担当教諭および特別支援コーディネーターの計画的な育成とそれを支える全校体制の確立をめざします。</p>
<p>平成20年度の重点取り組み項目</p>	<p>◎確かな学力をつけることをめざしながら、他との関わりの中で問題解決力を高める子どもをめざして算数科の研究に取り組みます。 ◎火曜・金曜の朝読書の時間をさらに充実させ、開校以来続いている水曜の読み聞かせと合わせて、読書活動による豊かな心の育成をめざします。 ◎体力の実態を確かめるために、全学年において体力テストを実施します。 ◎給食調理の民間委託で時間的改善が図られたのを機に、各学級における食教育の充実を計画的に進めます。</p>
<p>これまでの取り組み結果</p>	<p>◎毎月、「一人ひとりの良い所カード」を作成し、見合うことで子ども達の良さを伸ばす目を養ってきました。 ◎「子ども伸び伸び成長カード」を作成し、保護者と連携して、一人ひとりの児童の成長を具体的に確認し合いました。 ◎日常的な授業評価を通して、指導力の向上をめざしてきました。また、行事ごとに行事評価を行い、改善の方法を探りました。学校評価は、7月と12月の2回実施し、その結果並びに改善策は保護者にもお知らせしました。 ◎算数科の授業研究を通して、確かな学力をつけながら、他との関わりの中で問題解決力を高める子どもの育成をめざし、大きな成果をあげました。 ◎火曜・金曜の朝読書の時間、水曜の読み聞かせ活動を充実させ、読書を通して、豊かな心の育成に努めました。 ◎全学年において体力テストを実施しました。その結果は、次年度の学校経営の中で重点的に生かしていきます。 ◎学援隊を中心に見守り活動を展開し、さらに活性化するために「見守り活動に感謝しひろげる会」を開催しました。</p>
<p>教育懇話会の意見</p>	<p>【19年12月の教育懇話会でのご意見】 ◎言葉遣いが乱れていると感じる。きちんとした敬語を使えるよう指導してほしい。言葉遣いはテレビ等の影響も大きいので、家庭や地域も教えていきたい。 ◎家庭の教育力も問題になってきている。先生方は自信を持って指導してほしい。 ◎子どものあいさつの仕方家庭での様子がわかる。あいさつのできる子を育てていきたい。 【20年3月の教育懇話会でのご意見-20年度の重点取り組みに向けて】 ◎先生方はよくがんばっていると思う。体調管理が最も大切である。 ◎教育行政が二転三転して学校も対応が大変だと思うが、不変のところも必要である。 ◎一クラスの人数が多いので目が行き届きにくい面があるのではないかと。工夫が必要である。 ◎勉強が出来る子の意見を聞くだけでなく、大勢の子ども達が考えられる授業をめざしてほしい。 ◎少人数や習熟度などの工夫をして学力の向上に努めて欲しい。 ◎配慮の必要な子が増えているように感じる。その対応には何より先生を増やすこと大切である。教育委員会等に強く訴えて欲しい。 ◎挨拶は少しずつ良くなってきている。顔見知りではない子に挨拶されたりして学校の取り組みの良さを感じている。 ◎ルールを守ることは常に指導を続けて欲しい。 ◎子ども達の地域行事への参加が少ないという評価だが、そうでもない。むしろ先生方が、もう少し参加してくれると嬉しい。 ◎子ども達の様子は、できるだけ先生方で共通理解しておいて欲しい。 ◎先生方は、たくさん時間を割いて数多くの研修に行くのだから、その成果を伝え合う工夫できるといいと思う。</p>